



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.91 2009.7.23

発行 日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

衆議院解散 総選挙は8月18日公示、30日投票に 自公政権退場の「審判」を

新しい政治の「選択」が 問われる歴史的選挙

21日午後、衆議院が解散され、8月18日公示、30日投票の総選挙日程が決まりました。日本共産党は、この選挙で、自公政権退場の決定的「審判」を下すとともに、それに代わる新しい政治の「選択」を国民に呼びかけてたかいます。

「使い捨て」の働かせ方を横行させ、毎年2200億円の社会保障費を削減



党創立記念日に総選挙での躍進を訴える池内さおり衆議院12区青年運動部長（右）、その前都議（中）、のの山区議15日、赤羽駅東口

この立場から、民主党中心の政権が成立した場合に、建設的野党として、①国民の要求を実現するための「推進者」、②危険な政策からの「防波堤」、③「国民が主人公」の民主的政権をつくるための国民的共同を前進させる、という「3つの仕事」にとりくんでゆきます。

では、自公政権を終わらせた後に、どんな政治をめざすのか。日本共産党は、①「ルールある経済社会」をつくる、②「自主・自立の平和外交」に転換する、という「2つの旗印」を21世紀の日本の針路として掲げています。

してきた自公政権。生活の安心も、将来への希望も奪われ、「一刻も早く今の政治を変えてほしい」の願いは、先の都議選でも鮮やかにしめされました。いよいよ自公政治を終わらせるために、決定的な「審判」を下すチャンスが、今回の総選挙です。

核も戦争もない世界を

原水爆禁止世界大会に向け 北区で国民平和進行

今年も8月に原水爆禁止世界大会が開かれます。22日午後、大会にむけた国民平和進行が北区入り。区内の民主団体や労働組合の代表が中央公園から豊島区・中池袋公園まで「核兵器も戦争もない平和な世界を」と声をあげながら、元気に歩き通しました。

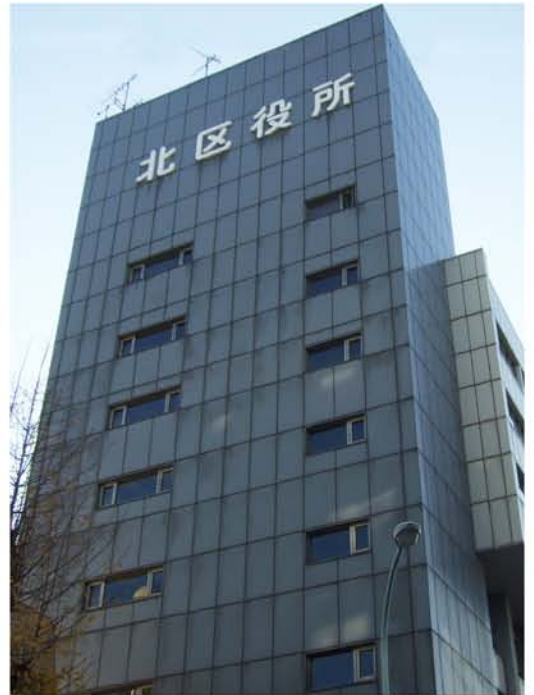
日本共産党から、そねはじめ前都議、のの山けん区議らが参加しました。



区庁舎のあり方検討はじまる

区民のみなさんから意見を募集

老朽化し、耐震性にも問題があるとして、北区役所庁舎のあり方を検討する区議会の委員会（庁舎のあり方検討特別委員会）が今年度より設置され、17日に初めての会議が開かれました。委員会に先立ち、すでに学識経験者を中心とした「庁舎のあり方専門委員会」が2回開かれ、ここで検討された4つの案が示されました（下表参照）。北区は、専門委と特別委を毎月開き、年内には庁舎のあり方について、一定の結論を出すとしています。庁舎の改修や建設には多額の費用がかかるため、慎重な審議が求められます。



北区が示している「庁舎のあり方」4案の検討ケース

A案	B案	C案	D案
在来工法による耐震補強と大規模改修工事	免震工法による耐震補強と大規模改修工事	現在の敷地での改築	新たな敷地に新庁舎を建設
現在の庁舎に必要な耐震補強や大規模改修工事を行って使用し、目標使用年数に達するまでに建て替える検討ケース		新たな庁舎に建て替える検討ケース	

※詳しくは、現在配付されている「北区ニュース」7月25日号をご覧ください。

意見の提出期間は8月25日まで

北区は、庁舎のあり方について区民からも意見を募集するとして、アンケート付の「北区ニュース」（7月25日号）を全戸に配付しています。区議会特別委で、のの山けん区議は「拙速に結論をまとめるのではなく、区民や議会の意見をじっくりと聞くべきだ。意見の提出は8月25日までとなっているが、期限はもっと長くするべき」と主張しました。

■現在の庁舎配置と主な窓口

6つの庁舎により、主な区民サービスや行政事務を行っています ※本庁舎以外の出先施設は除きます。

